

令和7年度 事後評価シート

施策	10子どもたちの可能性を伸ばす多様な教育の提供
K G I	①将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 小学校 【基準値】82.7%（令和4年度）【目標値】86.2%
	②将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 中学校 【基準値】70.3%（令和4年度）【目標値】70.4%
	③受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと感じる児童生徒の割合 小学校 【基準値】80.4%（令和4年度）【目標値】85.9%
	④受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと感じる児童生徒の割合 中学校 【基準値】75.2%（令和4年度）【目標値】82.4%
	⑤県立高校における夢や目標を持っている生徒の割合 【基準値】81.9%（令和4年度）【目標値】84.0%
	⑥県立高校における生徒の教育内容満足度 【基準値】84.7%（令和4年度）【目標値】87.0%

【細施策シート】

策シート】

細 施 策		10_01	私学教育の振興				担当部局		総務部	
			施策KGI		②					
K G I	退学者率									
	KGI種別	下がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度	目標値	1.2 %	目標値	1.2 %	目標値	1.2 %	目標値	1.2 %
	基準値	1.9 %	実績値	1.3 %	実績値	1.3 %	実績値	1.2 %	実績値	%
			達成率	92.31 %	達成率	92.3 %	達成率	100.0 %	達成率	%
ストック/ フロー	フロー	成果進捗 評価	不調	成果進捗 評価	不調	成果進捗 評価	順調	成果進捗 評価		
7 年 度	要因分析 【必須】	全日制高校では、就学支援金や奨学給付金等の支給を通じて経済的理由による退学者ゼロを継続している。また、昨年度に比べて進路変更での退学者が激減しており、運営費補助金で特色ある私学教育を側面支援したことで、減少に寄与したと思われる、目標を達成することができた。								
	見直し方向性 【必須】	公教育の一翼を担い、特色ある教育を実践している私立学校が果たすべき役割は大きく、在籍生徒や進学希望者が将来の夢や目標に向かって安心して学びを継続できる教育環境づくりが不可欠であるため、引き続き、就学支援金や奨学給付金等により教育費の負担を軽減することをもって、就学の機会を保障していく。 また、多様化する教育ニーズやデジタル化やグローバル化などの社会の変化に対応した私学教育の充実が求められるため、8年度は、デジタル、グローバルの専門人材の配置支援事業に加え、私立高校における教育環境（デジタル・グローバル教育、キャリア教育、探求型学習、教育相談体制）の充実に新たに補助することとしており、今後とも、運営費補助金を通じて、厳しい経営状況にある私立学校を支え、教育の質の向上を図りながら、将来を担う子どもたちの資質・能力が育まれるよう、私立学校の振興に取り組んでいく。								